

ゆがわら こどもまんなかプラン2024

こども計画（子ども・若者計画・子どもの貧困対策計画）、
次世代育成支援行動計画、子ども・子育て支援事業計画

★5種類の計画を含んでいます

- 市町村こども計画（こども基本法第10条第2項）
 - 市町村計画（こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律第10条第2項）
 - 市町村子ども・若者計画（子ども・若者育成支援推進法第9条第2項）
- 市町村行動計画（次世代育成支援対策推進法第8条第1項）
- 市町村子ども・子育て支援事業計画（子ども・子育て支援法第61条第1項）

★それぞれの計画のイメージです

- 市町村こども計画・・・こども支援の方向性を定めています。
- 市町村行動計画・・・事業の量の見込みや確保方策等を定めています。
- 市町村子ども・子育て支援事業計画・・・施策や事業を定めています。

★こんなまちを目指します

自然とやさしさの中で
すべての子ども・若者が健やかに育つ町

子どもや若者は、私たちのまちの将来を担い、また次の世代へとつないでいくかけがえのない存在です。本町の豊かな自然の中で、誰一人取り残されることなく、多くの愛情が注がれ、健やかに育つことができるよう、これまでの計画の基本理念や各種法律等を踏まえ、本プランの基本理念は「自然とやさしさの中ですべての子ども・若者が健やかに育つ町」とします。

- | | |
|--|--|
| <p>基本方針1
基本方針2
基本方針3
基本方針4
基本方針5
基本方針6</p> | <p>こども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る</p> <p>こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていく</p> <p>こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する</p> <p>良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする</p> <p>多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立ち、若い世代の生活基盤の安定を図るとともに、結婚や子育てに関する希望の形成と実現を後押しする</p> <p>国・県・近隣自治体をはじめ、各種法人、民間団体、住民等との連携による取組を重視する</p> |
|--|--|

★プランにある主な取り組みです

【課題】

暮らしの状況を苦しいと感じる子育て世帯への支援施策の再検討が求められている。

【対策】子育てや教育に関する経済的負担の軽減
幼児教育・保育にかかる費用の独自軽減や、学校給食費の全額公費負担の実施など、子育て世帯への経済的支援の充実に取り組みます。

【課題】

こども・若者支援については、安全・相談窓口・交流の場の提供・経済的支援など多方面における支援が求められている。

【対策】こども家庭センターの設置
こども家庭センターを設置し、子育て世帯に対する包括的な支援体制の中心として、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの相談支援を行い、妊娠・出産・子育てに困難を抱える家庭の支援等を行います。

【課題】

近年増えている働く母親について、働きやすさを確保する施策の検討が求められている。

【対策】みやのうえ保育園の再整備
老朽化したみやのうえ保育園を建替え、保育環境の整備を図るとともに町外から子育て世帯が転入してくるほどのユニークで魅力的な保育園の再整備を行います。

★プランにある取り組みの詳細です

No.	事業名	事業概要	対象者	担当課
16	子育て支援紙おむつ等支給事業	出生の翌月から1歳の誕生日まで、月額7,000円を限度に紙おむつ等の子育てに必要な消耗品を支給します。	1歳になるまでの乳児の保護者	こども支援課
72	小児医療費の助成	小児が病気やけがなどで医療機関にかかったときの保険診療の自己負担分を助成します。	0歳～18歳までの児童	こども支援課

★プランにある主な事業です

(1) 本町における事業名	地域子育て支援拠点事業 子育てサロン
(2) 事業の概要	乳幼児及びその保護者が相互に交流を行う場所を常設し、子育てについての相談、情報提供など行う。
(3) 確保方策の考え方	需要の状況に応じ、イベントや講座の回数を増やします。また、広報やホームページ等で事業の周知を図り、利用しやすい環境作りに努めます。

単位：人回	2023年度実績	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
量の見込み	4,809	4,625	4,575	4,600	4,475	4,325
確保提供量	6,432	4,625	4,575	4,600	4,475	4,325
需給差	1,623	0	0	0	0	0

★次の目標を掲げています

目標	項目	目標値 2029年度	現状値 2024年度
1	「こどもまんなか社会の実現に向かっている」と思う人の割合	70.0%	11.0%
2	「生活に満足している」と思うこどもの割合	70.0%	56.6%
3	「今の自分が好きだ」と思うこども・若者の割合（自己肯定感の高さ）	75.0%	64.7%
4	社会的スキルを身につけているこどもの割合	80.0%	63.6%
5	「自分には自分らしさというものがある」と思うこども・若者の割合	90.0%	83.1%
6	「どこかに助けてくれる人がいる」と思うこども・若者の割合	98.0%	97.1%
7	「社会生活や日常生活を円滑に送ることができている」と思うこども・若者の割合	75.0%	54.4%
8	「こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思うこども・若者の割合	75.0%	27.2%
9	「自分の将来について明るい希望がある」と思うこども・若者の割合	80.0%	65.1%
10	「湯河原町の将来は明るい」と思うこども・若者の割合	60.0%	29.4%
11	「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思う人の割合	70.0%	23.0%
12	「こどもの世話や看病について頼れる人がいる」と思う子育て当事者の割合	90.0%	72.5%

湯河原町役場 こども支援課

〒259-0392

神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1

TEL：0465-63-2111（内線332）